

重点目標・評価項目・評価の観点

【評価】 A：十分達成 B：ほぼ達成 C：やや不十分 D：不十分 %

| 重点目標 | 評価項目 | 評価の観点 | 成果と課題 | A | B | C | D |
|---------------------------------|------|--------------------------------|--|----|----|----|----|
| I 丁寧な指導により、生徒の学習意欲と学力を高める | 1 | 個別指導の充実と一人ひとりの生徒の学習状況についての情報共有 | 生徒一人ひとりの学習課題を把握し、学習状況について情報共有を密にできたか。 | 20 | 80 | 0 | 0 |
| | 2 | 各教科における指導方法の改善、授業力を高める工夫 | 授業計画書の提示、教材の工夫、授業評価を実施して授業改善に取り組めたか。 | 40 | 40 | 20 | 0 |
| | 3 | 苦手教科のある生徒へのキメの細かい指導 | 補充指導や提出物の指導などに取り組めたか。 | 50 | 40 | 10 | 0 |
| | 4 | 特設授業の充実と意欲ある生徒への学習支援 | 特設授業は生徒の学習意欲や学力向上の期待に応えているか。 | 20 | 70 | 10 | 0 |
| | 5 | 自学自習の指導及び長期休業中の補習の実施 | 基礎力の補充、学力向上をかなえるための学習指導、補習が実施できたか。 | 30 | 60 | 10 | 0 |
| II 生徒の自立を支援する | 6 | 生徒支援チームの活動の充実 | スクールカウンセラー等との連携による支援や、生徒支援に関する情報の共有が図れたか。 | 20 | 30 | 40 | 10 |
| | 7 | 生徒の抱えている悩みや障害の把握 | 早い段階で生徒の悩みや障害を把握し、相談に乗れたか。 | 20 | 60 | 20 | 0 |
| | 8 | 開かれた学校づくり、外部機関との連携 | 地域に開かれた学校づくりと、外部機関との連携により生徒の自立を支援できたか。 | 0 | 80 | 20 | 0 |
| III 早期からの進路指導を充実させ、多様な進路希望実現を図る | 9 | 在校生の就業支援 | 一人ひとりの生徒の希望に応えた就業支援ができたか。 | 60 | 30 | 10 | 0 |
| | 10 | キャリア教育の充実 | インターンシップ、就業体験活動などを計画し実施できたか。 | 30 | 50 | 20 | 0 |
| | 11 | 個々の進路目標の早期確立支援 | 進路講話、進路ガイダンス、個別面談などを通じて支援ができたか。 | 50 | 50 | 0 | 0 |
| | 12 | 就職希望者に対する進路指導の充実 | 職安など外部機関と連携して適切な進路指導ができたか。 | 70 | 30 | 0 | 0 |
| IV きれいな学校をつくる | 13 | 全校清掃の計画と実施 | 定期的な全校清掃で校内外の美化が図れたか。 | 40 | 60 | 0 | 0 |
| | 14 | 上下履きの区別 | 登校時指導、生徒会の協力等で上下履きの区別はできたか。 | 80 | 20 | 0 | 0 |
| | 15 | 健康や環境に対する意識の向上 | 総合的な学習で健康、環境に関する学習に取り組めたか。 | 70 | 30 | 0 | 0 |
| V 生徒にとって居場所のある楽しい学校をつくる | 16 | LHR時間の充実 | LHR時間の確保と充実が図れたか。 | 10 | 50 | 40 | 0 |
| | 17 | 生徒主体による行事の実現支援 | 生徒会による行事を中心に、仲間づくりにつながる行事を実現できたか。 | 60 | 30 | 10 | 0 |
| VI いじめ・暴力・体罰のない安心・安全な学校をつくる | 18 | いじめ・暴力・体罰のない安心、安全な学校、居場所づくり | いじめ・暴力・体罰など人権侵害について、生徒の意識を高めるとともに発生した事案に適切に対処できたか。 | 50 | 50 | 0 | 0 |